

# いよいよ募集解禁! いざ、募集へ出陣 募集出陣式



「全てを募集に」と訓示する本部長

七月一日に高等学校新規卒業予定者に対する募集解禁が解禁になるにあたり、自衛隊大分地方協力本部(本部長 渡辺辰悟一等陸佐)はその前日である六月三十日(木)、大分合同庁舎において平成二十八年募集出陣式を実施しました。本年は、各地区の募集相談員代表者列席の下、始めに平成二十七年年度の募集成果が報告され、続いて優秀広報官及び最も成果をあげた募集事務所に対する表彰が実施されました。その後、各募集事務所長が「目標百%達成」への決意表明を行い、翌日からの募集解禁に向けて気合を入れました。



各事務所毎の輪を、本部勤務者を取り囲んで陣陣を組む 飯野一雄氏による挨拶 平成27年度優秀募集事務所表彰される大分募集案内所長



輸送艦「しもきた」の入港を支援 (大分港大在埠頭:緊急支援物資輸送)

大分地本は、四月十四日夜、熊本県震度七の地震速報を受け、二十五分後に大分県庁に連絡指針を派遣するとともに指揮所を立ち上げ、大分県内の被災状況を西部方面総監部に一報しました。続く十六日未明の本震発生に十三市町に連絡員を直ちに派遣。本部一県庁、各地域事務所等一市町役場と、県内各地に拠点を構える『地の利』による連携と、父兄会、隊友会等との平素からの『人脈』を生かして、県内各地の被災状況や住民の避難状況を逐次に方面総監部に提供した他、自治体の物資支援要請等の連絡調整を実施するとともに、緊急支援物資を積んだ海上自衛隊輸送艦しもきた

【呉基地所属】の大分港入港等を支援しました。今回の地震は、八代、熊本、阿蘇、そして別府に連なる断層帯で広域に発生する特性から、震源が大分県には津波を伴う大きな被害が懸念されたこともあり、大分地本は、大分県庁と密接な連携を保持して、部隊の状況等を継続的に情報提供を継続しました。



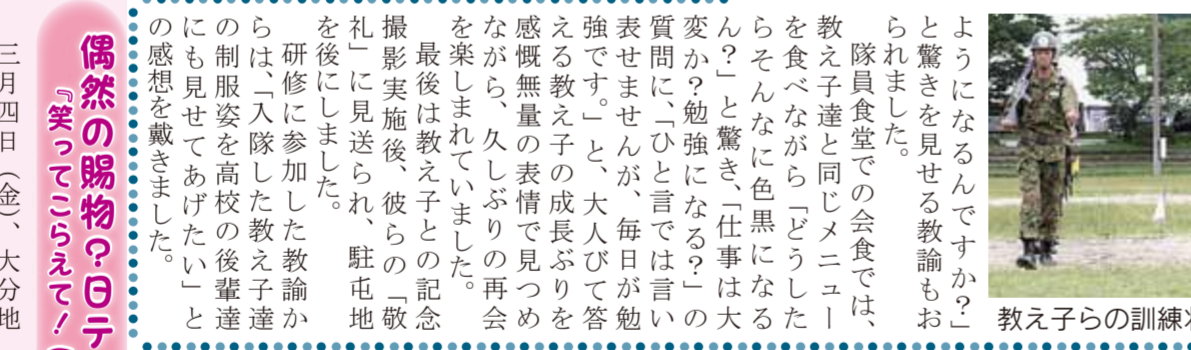
各市町村の災害対策本部会議に参加 (写真は別府市役所) 県防災危機課対策監 田村浩仁氏 (陸自OB)に災害部隊の運用を説明

【南極の水】贈呈  
五月二十四日には、内観測史上最大震度六弱に見舞われた由布市にある由布院小学校の児童に、地震で被災した子供達の心のケアになればと、砕氷艦しらせが採取した「南極の水」を贈呈し、夢



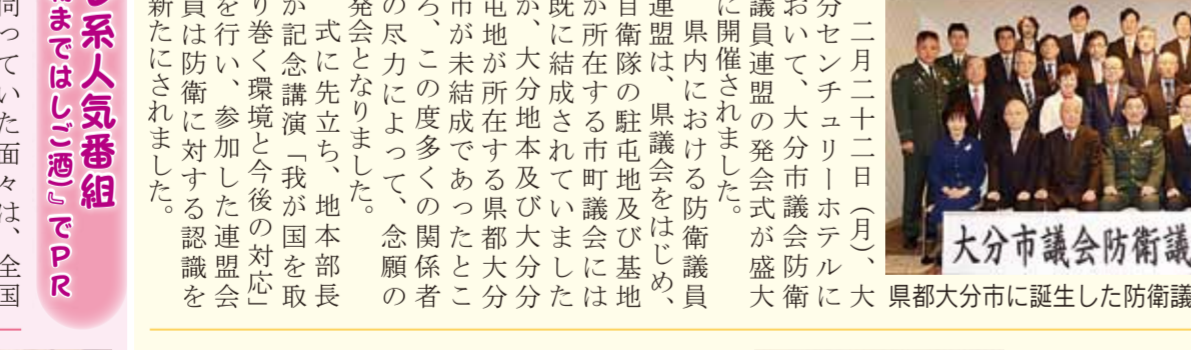
校長室で代表児童に水を贈呈

【笑ってこらえて?】朝までほろ酔いパー  
三月四日(金)、大分地本の募集課が別府市内の居酒屋で送別会を実施中、なんと女性ファッションモデル・タレントのラブリエちゃん(ラブリエ)が朝までほろ酔いパーのロケで来店。募集課の酔っ払い客の酒席に混じって、突然ロケが始まるという幸運に恵まれたそうです。



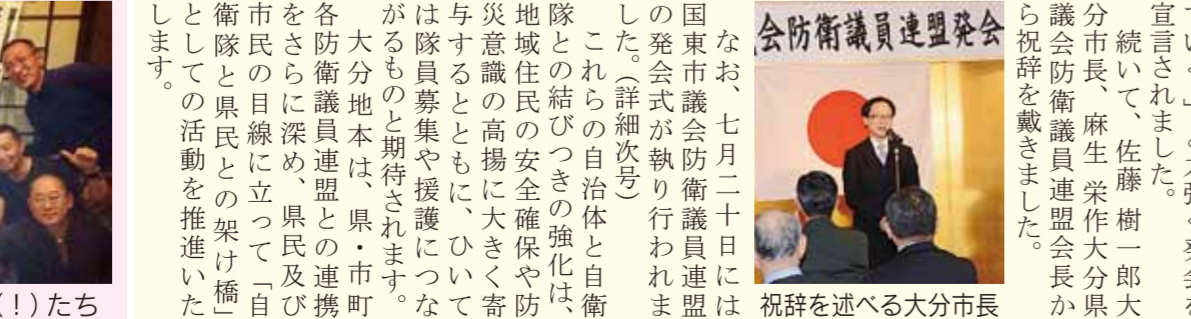
ラブリエちゃんと募集課の野獣(!)たち

【大分市議会に防衛議員連盟が発足】  
自衛隊との関係をより強固に  
二月二十二日(月)、大分市議会に誕生した防衛議員連盟と関係者に、大分市議会防衛議員連盟発式が盛大に開催されました。県内における防衛議員連盟は、県議会をはじめ、自衛隊の駐屯地及び基地が所在する市町議会には既に結成されていました。大分地本及び大分分屯地が所在する県都大分市が未結成であったところ、この度多くの関係者の尽力によって、念願の発会となりました。式に先立ち、地本部長が記念講演「我が国を取り巻く環境と今後の対応」を行い、参加した連盟会議員は防衛に対する認識を新たにされました。



大分市議会防衛議員連盟発式

【高校教諭が研修】  
自衛官候補生教育部隊を  
六月七日及び八日、湯布院・別府駐屯地において、この春に県内高校卒業生が入隊した「自衛官候補生教育部隊」を高校教諭が研修しました。各駐屯地では、自衛官の基本となる動作を研修する基本教練の場面を研修し、斉一できききびと見た動きを見せる教諭達にもこの姿を見せ、後輩に伝えたいと、訓練の様子等をカメラに収めました。



教諭たちの訓練状況をカメラに収める教諭

# 大分地本だより

【発行日】平成28年8月3日  
【発行元】自衛隊大分地方協力本部  
大分県別府市27-1-36 大分合同庁舎5F  
【発行責任者】熊野丸アザイン印刷  
E-mail:pr1-otafppc.mod.go.jp  
TEL:097-536-6271  
FAX:097-536-6272

【熊本地震に「地の利」「人脈」を生かして迅速に対処】  
大分地本は、四月十四日夜、熊本県震度七の地震速報を受け、二十五分後に大分県庁に連絡指針を派遣するとともに指揮所を立ち上げ、大分県内の被災状況を西部方面総監部に一報しました。続く十六日未明の本震発生に十三市町に連絡員を直ちに派遣。本部一県庁、各地域事務所等一市町役場と、県内各地に拠点を構える『地の利』による連携と、父兄会、隊友会等との平素からの『人脈』を生かして、県内各地の被災状況や住民の避難状況を逐次に方面総監部に提供した他、自治体の物資支援要請等の連絡調整を実施するとともに、緊急支援物資を積んだ海上自衛隊輸送艦しもきた

【防衛モニターになって】  
平成二十七年防衛モニター 浅田 晴美さん (イラストレーター)  
二年の任期がもう半分過ぎてしまいました。以前は私は正直なところ防衛や自衛隊の情報に疎く、何も知らない状態からのスタートでしたが、陸海空自衛隊の様々なイベントに家族共々誘っていただいたことで、それまで遠い存在だった自衛隊のイメージがとて身近に思えるようになり、空祭では子供達が大興奮だったこと、護衛艦「ゆうぎり」の特別公開では、無駄のない装備と機能に加えて、ほこりひとつ落ちてない艦内の様子に印象に残っています。そんな中で今回、熊本の災害派遣活動をテレビ

【部員紹介】  
2等陸佐 伊藤 宏  
福島県伊達市出身(53歳)  
本人曰く、決して南極行きを諦めていません。だそうである。日曜大工とガーデニングという地味な趣味に似合わず「シボレーLMV」を愛車として「いずれば」は「ボルボ」か「アウディー」の四駆を買おうと張り切っている。婚活中という事なので、一応タイプの男性を訪ねたところ「熊のように逞しく、その上優しい男性」と、車の好み同様「がっつり系」だった。本記事を読まれた方で、隊員募集の情報と併せて本タイプに合致する、宜しき男性の情報があれば、宜しくお願いします。

【部員紹介】  
3等海曹 平塚 実希子  
玖珠郡出身 ☆独身  
本年二月に、大分地本で二入目の女性広報員として別府地域事務所に着任。別府・国見町・姫島村と別府市の一部を担当して入隊。自らの募集業務に加えて『自らの婚活』を兼務しつつ積極広報に務めている。平成十八年春、長崎大学の水産学部卒業後に海上自衛隊に入隊。その動機は某地本広報員から陸自艦に上陸の乗員になれば、南極に行けるかも、この言葉に胸躍らせた。決意、入隊後、佐世保地方総監部での勤務経験、前線は大分航空基地長崎県において、航空機整備員として勤務した。

【部員紹介】  
大分地域支援センター長  
し、三女一男の子宝に恵まれる。衛生科職種ながら体育会系に目覚め、第 空挺団等で勤務し、平成十七年にはイラク人道復興支援活動に衛生隊副隊長として参加。その翌年はジャワ島中部地震に対する国際緊急援助活動に「治療隊長」として派遣される等、各地で男気を発揮した。現在は、愛する妻の実家に近い日町に拠点を構えて勤務しており、定年後は大分県内で人生を全うする予定であるが、東北訛りは今なお健在である。

大分市議会防衛議員連盟発式

# 自衛官募集中!!



1.17 大分地本創立記念行事 (レムプラントホテル大分)



2.26 海上自衛隊佐世保地方総監による大分県副知事表敬支援 (大分県庁)



3.15 FMさいき「街ぶらさいき」出演 (佐伯市)



4.3 潜水艦まきしお特別公開 (佐伯港女島岸壁)



平成28年 Photo Album 広報フォトアルバム



5.21 UH-1ヘリコプター体験搭乗 (陸上自衛隊別府駐屯地)



6.26 中津三光地区防災訓練 (中津三光佐知地区)

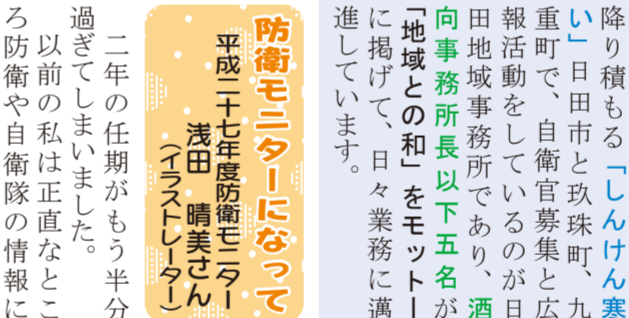


6.27 全国自衛隊父兄会会長より感謝状受賞 (大分県自衛隊父兄会会長より伝達)



7.1 予備自衛官補辞令書交付式 (大分合同庁舎)

【日田地域事務所紹介】  
夏は「日本一暑い場所」とテレビでも報道され、冬はこれまた大分県でもスキー場があるほど雪が降り積もる「しんけん寒い」日田市と玖珠町、九重町で、自衛官募集と広報活動をしているのが日田地域事務所であり、酒向事務所長以下五名が「地域との和」をモットーに掲げて、日々業務に邁進しています。



わんぱく息子達といつも一緒にです。



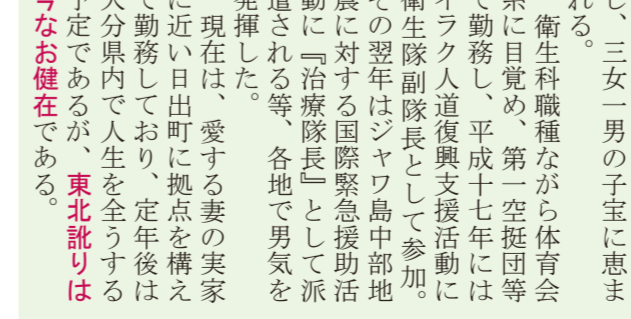
陸海空自衛官募集

事務所周辺には日田市役所や日田高校があり、「大分地本で一番判り易い場所」に恵まれています。私たちは今後も多くの方々と、どれだけ向き合っていくかを大切にする。各種広報活動に務めてまいります。そして自衛官を志す方の夢を一番に応援いたします。どうぞ、お気軽にお立ち寄り下さい。

【部員紹介】  
3等海曹 平塚 実希子  
玖珠郡出身 ☆独身  
本年二月に、大分地本で二入目の女性広報員として別府地域事務所に着任。別府・国見町・姫島村と別府市の一部を担当して入隊。自らの募集業務に加えて『自らの婚活』を兼務しつつ積極広報に務めている。平成十八年春、長崎大学の水産学部卒業後に海上自衛隊に入隊。その動機は某地本広報員から陸自艦に上陸の乗員になれば、南極に行けるかも、この言葉に胸躍らせた。決意、入隊後、佐世保地方総監部での勤務経験、前線は大分航空基地長崎県において、航空機整備員として勤務した。

【部員紹介】  
大分市議会に防衛議員連盟が発足  
自衛隊との関係をより強固に  
二月二十二日(月)、大分市議会に誕生した防衛議員連盟と関係者に、大分市議会防衛議員連盟発式が盛大に開催されました。県内における防衛議員連盟は、県議会をはじめ、自衛隊の駐屯地及び基地が所在する市町議会には既に結成されていました。大分地本及び大分分屯地が所在する県都大分市が未結成であったところ、この度多くの関係者の尽力によって、念願の発会となりました。式に先立ち、地本部長が記念講演「我が国を取り巻く環境と今後の対応」を行い、参加した連盟会議員は防衛に対する認識を新たにされました。

【部員紹介】  
大分地域支援センター長  
し、三女一男の子宝に恵まれる。衛生科職種ながら体育会系に目覚め、第 空挺団等で勤務し、平成十七年にはイラク人道復興支援活動に衛生隊副隊長として参加。その翌年はジャワ島中部地震に対する国際緊急援助活動に「治療隊長」として派遣される等、各地で男気を発揮した。現在は、愛する妻の実家に近い日町に拠点を構えて勤務しており、定年後は大分県内で人生を全うする予定であるが、東北訛りは今なお健在である。



大分市議会に防衛議員連盟が発足

自衛隊との関係をより強固に

大分地域支援センター長



「いよいよアルグリッチ八王子へ」  
★隊員及び家族を招待

一月三十一日、別府市の「いよいよアルグリッチハウス」で開催された自衛隊員及びその家族のみを招待するプログラム「会田莉凡ヴァイオリン・リサイタル」を支援しました。

本企画は、主催者である公益財団法人アルグリッチ芸術振興財団の伊藤京子副理事長らの計らいにより実現しました。

会場は、昨年五月に竣工したばかりの、世界最高峰のピアニスト、マルタ・アルゲリッチに、世界最高峰のヴァイオリン協奏曲など五曲が演奏される、サロン形式のホールに演奏する形式のホールに演奏する演奏者の美しい息遣いを間近で感じ、また曲に訪れる一瞬の静寂にホール全体の空気がピンと張り詰めるのを肌で感じるなど、まさに演奏者と聴衆が同じ空気を呼吸している一体感を身体全体で感じながら、聴衆者全員が時を忘れて魅了されました。

防衛モニター新旧交代

五月二十日(金)、任期を終了するモニターに対する防衛事務次官からの感謝状授与及び新規モニターへの委嘱状授与・交付式を実施しました。終了する岡部モニターは「充実した二年間だった。大分地本との親睦会を作って、更に懇親を深めたい」と語り、「新規の平本モニターも、家族ともども楽しみにしています」と、期待を込めてお話ししました。



(左) 26年度防衛モニター 岡部 実氏  
(右) 28年度防衛モニター 平本 武史氏

平成二十八年年度 新規募集相談員紹介



宇佐市 今永 浩様 西原 富子様 別府市 宮園 正敏様 一宮 慶太様  
別府市 九重町 玖珠町 玖珠町 日田市 日田市  
河津 邦良様 川津 靖幸様 秋好 憲生様 有働 雅之様 箴嶋 道雄様

七月一日付で新たに九名の方が自衛官募集相談員として委嘱されました。地域に根ざした情報の提供を宜しくお願い申し上げます。

参加した隊員や家族は、「またと無い素晴らしい機会に感激しました。子供供に本物のクラシックを間近で聞かせることが出来ました」と感想を述べていました。

椎木正和氏は七月十六日逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。(部員一同)

日本文理大付高インターンシップで生徒と部員絆深まる

二月十七日から十九日の間、日本文理大学付属高校専門科一年生徒十名によるキャリア教育(インターンシップ・自衛隊研修)を支援しました。

初日は海上自衛隊佐伯基地分遣隊を研修して、山頂を目指して生徒ら

二月十七日(日)、別府市を拠点に、自衛隊員及びその家族のみを招待するプログラム「会田莉凡ヴァイオリン・リサイタル」を支援しました。

本企画は、主催者である公益財団法人アルグリッチ芸術振興財団の伊藤京子副理事長らの計らいにより実現しました。

会場は、昨年五月に竣工したばかりの、世界最高峰のピアニスト、マルタ・アルゲリッチに、世界最高峰のヴァイオリン協奏曲など五曲が演奏される、サロン形式のホールに演奏する形式のホールに演奏する演奏者の美しい息遣いを間近で感じ、また曲に訪れる一瞬の静寂にホール全体の空気がピンと張り詰めるのを肌で感じるなど、まさに演奏者と聴衆が同じ空気を呼吸している一体感を身体全体で感じながら、聴衆者全員が時を忘れて魅了されました。

「中津みなとふじまつり」で広報

四月三十日及び五月一日「第十四回中津みなとふじまつり」に初めて参加して、会場に訪れた約六千人の市民に自衛隊をPRしました。

今年のまつりには、海上自衛隊の水中大分母船が沖繩から参加するのが目玉の一つになっていましたが、平成二十八年熊本地震への対応のために中津への寄港が叶わなかったため、当初埠頭で実施予定であった広報ブースをまわりの会場中央付近に開設するとともに、熊本における自衛隊の災害派遣活動のパネル展示を行いました。また、主催者の図らうにより陸海空自の各部隊がステージに登壇して、それぞれ自衛隊の魅力をPRし併せて自衛官募集を告知しました。

街頭募集活動「専業主婦キャラバン隊」発動!

三月五、六日の両日、「本部が一丸となって募集を実施する」との本部長指針の下、二十七日度最後のとなる自衛官候補生試験の志願者勧誘を目的に「キャラバン隊」を編成して、街頭募集活動を実施しました。

三月五、六日の両日、「本部が一丸となって募集を実施する」との本部長指針の下、二十七日度最後のとなる自衛官候補生試験の志願者勧誘を目的に「キャラバン隊」を編成して、街頭募集活動を実施しました。

活動中のキャラバン隊(大分駅前)

「専業主婦キャラバン隊」発動!

りオートバイや軽装甲機動車等の支援を受けたキャラバン隊は、JR大分駅前を皮切りに、狙い通り多くの市民らに目を浴びながら、募集活動を巡回しました。

初日は元プロバスケットリーグのチーム「大分・愛媛ヒートデビルズ」のホームゲーム会場前において、最終日は大分市内の大型商業施設等で広報ブースを開設し、制服試着や車両展示と併せて募集活動を実施しました。

普段直接募集活動に従事していない本部勤務の部員が、照れながらも一生懸命市民らに言葉かけや受験志願者獲得を目指して努力しました。

【大分・愛媛ヒートデビルズ】試合会場前にて

被災を最小限に!  
平成二十八年年度大分県防災パトロール参加

五月十三日から六月七日の間、大分県内十八市町村において防災パトロールが行われました。

防災パトロールとは、自治体・各隊区担任部隊及び消防・警察・国土交通省等関係機関が集まり、各市町村がヒックアップした災害危険予想地域を現地調査(パトロール)するとともに検討会を開き、危険度ランクをABCの三段階で評価しながら対策等について協議し、梅雨の風水害多発期に備えるため、大分地本も参加しています。

今年度は熊本地震の影響が残る中で実施され、宇佐市では市長自らが参加するなど、自治体及び各関係機関は例年以上に力を入れました。国民保護、災害対策連絡調整官及び各地域事務所長等が参加して、過去の災害派遣時の経験を生かした視点から積極的に危険箇所を指摘し、現地調査時の入念な調査や検討会で活発な発言等を行い、災害予防に努めました。



県内の危険箇所を共同で点検中

六月十四日(火)、レンタホテル大分において、平成二十八年年度大分県自衛隊退職者雇用連絡協議会総会等が開催され、約五十社の雇用企業主等が参加して、退職自衛官の就職支援に関する衛官の就職支援の達成への寄与などの認識の統一が図られました。

総会に引き続き、海上自衛隊員地方総監部海長 南孝宜海将補を講師に招いて「海上自衛隊の国際貢献」と題する講演が行われました。講師は自衛隊の国際貢献が海上自衛隊のヘルシージャパンの掃海部隊の派遣から始まったことや、外国の港への護衛艦寄港が国家外交の側面を持っていること等に触れ、会場を埋め

六月十四日(火)、レンタホテル大分において、平成二十八年年度大分県自衛隊退職者雇用連絡協議会総会等が開催され、約五十社の雇用企業主等が参加して、退職自衛官の就職支援に関する衛官の就職支援の達成への寄与などの認識の統一が図られました。

総会に引き続き、海上自衛隊員地方総監部海長 南孝宜海将補を講師に招いて「海上自衛隊の国際貢献」と題する講演が行われました。講師は自衛隊の国際貢献が海上自衛隊のヘルシージャパンの掃海部隊の派遣から始まったことや、外国の港への護衛艦寄港が国家外交の側面を持っていること等に触れ、会場を埋め

平成28年度 大分県自衛隊退職者雇用連絡協議会総会等開催

海上自衛隊の国際貢献

講演中の呉地方総監部海長 南孝宜

初めて豊後大野市の商業施設で募集広報  
多くの市民に自衛隊を広報

竹田地域事務所(所長 木津 義行一等陸尉)は、七月二日(土)及び翌三日(日)、豊後大野市に所在する『トリエステ』において、西部方面特科連隊(湯布院駐屯地)の協力を得て募集広報を実施しました。

施設の正面玄関付近に開設された広報ブースは、来店者の目を引き、日頃見かけない自衛隊の車両等にチェックマークは大興奮。早速制服試着体験をしつつ、車両の前などで写真撮影を行っていました。

梅雨真っ盛りの時期だけに屋外の広報ブースは雨による影響が懸念されましたが、雨にもかかわらず、大勢の市民がブースに来場。

「どれ着ちゃおうか?」

試着体験等だけでなく災害派遣のパネル展示や自衛隊の機関紙等にも関心をもち、色々と質問をしていました。

募集ブースは「一孫を入学させたい」という女性がパンフレットを受け取られたり、夜のイベントに出演する高校生がブースを訪れて積極的に入隊に関する説明を受け、有意義な募集広報活動となりました。

今回は「一人が集まる」との所長の思いが叶ったとの募集広報であり、広報未実施の商業施設等を活用し、市民への広報活動を続けてまいります。

- 人事往來(平成二十八年上半期)
- 転出
- 三月二十三日付
    - 幹部候補生学校へ
    - 三陸隊 村上 司 誠(大分地域支援センター)
    - 第四後方支隊連隊へ
    - 一等陸曹 是永 勇人(宇佐地域事務所 対馬警備隊)
    - 自衛隊別府病院へ
    - 一等陸曹 廣瀬 昌弘(総務課)
    - 西部方面特科連隊へ
    - 一等陸曹 梶原 忠治(援護課)
    - 第一ヘリコプター団へ
    - 二等陸曹 甲斐 洋司(総務課)
    - 装備実験隊へ
    - 二等陸曹 前川 秀樹(大分募集案内所)
    - 第十四旅団司令部付隊へ
    - 二等陸曹 嶋津 栄一(大分募集案内所)
    - 第三十五普通科連隊へ
    - 二等陸曹 橋谷 淳(募集課)
    - 佐伯基地分遣隊へ
    - 二等海曹 佐久間盛治(広報渉外室)
  - 四月一日付
    - 自衛隊宮崎地方協力本部へ
    - 行(二)5 笠原 健生(援護課)
    - 西部方面総監部へ
    - 行(二)4 石井 輝紀(総務課)
    - 自衛隊島根地方協力本部へ
    - 行(二)4 峰 聡(広報渉外室)
    - 九州補給処へ
    - 行(二)3 荒木信太郎(総務課)
    - 四月二十五日付
      - 第二十二電子整備隊へ
      - 一等海曹 本多 博之(別府地域事務所)

転入

    - 二月十八日付
      - 別府地域事務所へ
      - 三等海曹 平塚実希子(第二十二航空隊)
      - 三月二十三日付
        - 大分地域支援センターへ
        - 一等陸尉 伊藤 宏(中央即応集団司令部へ)
        - 一等陸曹 松永 保(第四後方支隊連隊)
        - 二等陸尉 伊藤 三吉(第四十一普通科連隊)
        - 陸曹長 奥野 忠之(第四十一普通科連隊)
        - 陸曹長 井上 憲司(西部方面後方支援隊)
        - 陸曹長 岩田 明(第八戦車大隊)
        - 一等陸曹 中尾 浩二(第四十一普通科連隊)
        - 二等陸曹 渡谷 英樹(西部方面特科隊)
        - 四月一日付
          - 援護課へ
          - 行(二)5 三重野 栄児(西部方面総監部)
          - 行(二)4 城 崇憲(西部方面総監部)
          - 行(二)4 植田信一郎(九州補給処)
          - 総務課へ
          - 行(二)3 真田 一洋(自衛隊宮崎地方協力本部)

平成二十八年年度大分県防衛協会総会等開催

六月三日(金)、大分県アンスタワーホテルにおいて、平成二十八年年度大分県防衛協会(会長 姫野清高氏)総会等が開催されました。

総会には、大分県選出国會議員及び県知事代理田村浩仁様をはじめ防衛関係者が多数参加し、本年度の協会の取り組み等について認識の共有が図られました。

防衛講話を実施する 第4師団長 赤松陸将

また、総会に引き続き、陸上自衛隊第四師団長 赤松雅文陸将(当時)を講師に招いて、「尖閣諸島の重要性について」と題する防衛講話が行われ、参加者約二百名が聴講しました。この講話により、尖閣諸島問題がわが国の重要な喫緊の防衛問題であることが改めて認識される等、防衛協会会員の防衛意識の高揚に寄与しました。

「自衛隊といっしょの仕事を」をPR  
高校生向け合同企業説明会参加

七月一日(土)、別府市コンプレザにおいて高校向け合同企業説明会(元氣おいた就職博)が開催され、約二千名の高校生卒業予定者が参加する中、大分地本は自衛隊ブースを開設し、陸海空自衛隊の概要や職業としての自衛隊の魅力を広報しました。

会場には、八十三社がブースを開設していましたが、とりわけ自衛隊ブースには大勢の生徒が

定年退官者紹介

大分募集案内所 所長 陸曹長 島村 英明  
宇佐地域事務所 所長 副所長 三陸尉 今永 浩  
二月十三日付 1月29日付

永年にわたる勤務 お疲れ様でした。

部員先導の下、山頂を目指す生徒ら

部員の携行食に興味津々の生徒ら

活動中のキャラバン隊(大分駅前)

部員先導の下、山頂を目指す生徒ら

部員の携行食に興味津々の生徒ら